

近年、全国的に関心が高まっている地方への「移住」。本町にも、町外・県外から多くの移住者が定住されています。

上野に住む山野^{まのり}正憲^{さのり}さん（通称じよんさん）・佐江^{さえ}子^こさんご夫婦は、11年前に本町に移住されました。ポニーと暮らすことが夢だったという佐江子さんは、美浜町で開催された空き家マッチングツアーに参加し、上野の住宅に一目惚れ。移住を決めた当時のことを山野さんご夫婦は「他の家（地域）もいいなと思っただけれど、上野のこの家がダントツでよかったですので、即決でした」と話されていました。

今月号の特集では、実際に美浜町に移住された方やその際に地域とのつなぎ役となった方々の体験談を紹介します。



美浜で暮らす

特集
Special Feature

わたしの夢、語ります

浅妻^{うま}優真^{ゆうま}さん 美浜西小学校 6年（大藪）

得意なことを生かす

私の将来の夢は、ゲームプログラマーになることです。理由は、昔からゲームが好きで、プログラミングにも興味があったからです。

学校の総合的な学習の時間に、プログラミングを使ってゲームを作りました。学校中の人に私が作ったゲームをやらせようと「楽しい」「もっとやりたい」と言ってくれて、とても嬉しかったです。今でもゲームを作り続けていて、友達に遊んでもらっています。

ゲームプログラマーになったら、みんなに楽しんでもらえるゲームを作りたいです。作る私もやる側となって楽しむことができたら、みんなが幸せになると思います。

私は、ゲームプログラマーになるために、ゲームを作り続けることや勉強を頑張っています。外国の人とも力を合わせてゲームを作りたいので、英語の勉強も頑張ります。



CONTENTS 目次 広報みはま2023年9月号

- 2 私の夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 特集 美浜^{ここ}で暮らす
- 8 第43回全日本中学選手権競漕大会
- 10 まちウォッチング
美浜町子ども会ミニバレーボール大会／福井県消防操法大会優勝 他
- 12 みはまシナプスプロジェクト
学びを軸とした次世代まちづくり事業
- 13 情報BOX
水道検針にご協力をお願いします／町から発信される防災情報について 他
- 20 美浜発電所の状況について
- 21 ふるさと昔よもやま話137／文芸欄
- 22 すこやか放送局
- 24 ハートフル広場
はじめてバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



8月2日に、はあとびあで行われた水遊びです。

この催しは、親子で水に親んでもらおうと、子ども・子育てサポートセンターが毎年企画しているものです。

参加した親子たちは、タライに張った水や水鉄砲等のおもちゃで水遊びを楽しんでいました。

移住者がこの町に移住を決めた訳

移住者 × 地域

良い環境や良い条件が整っていても、良い人と巡り合えなければ移住にはつながりません。

美浜町に移住した人たちは、キーマンとなる人と巡り合い、地域とつながることで移住を決断しました。

地域おこし協力隊として 活動したこの地で



前田 義博 さん=雲谷=

就職を機に兵庫県から移住。現在は、(株)サンガの社員として溪流の里(新庄)の管理・運営を行っている。

小さい頃から生き物が好きで、特に魚には興味がありました。高校を卒業後は、専門学校で魚の飼育や繁殖を学びました。

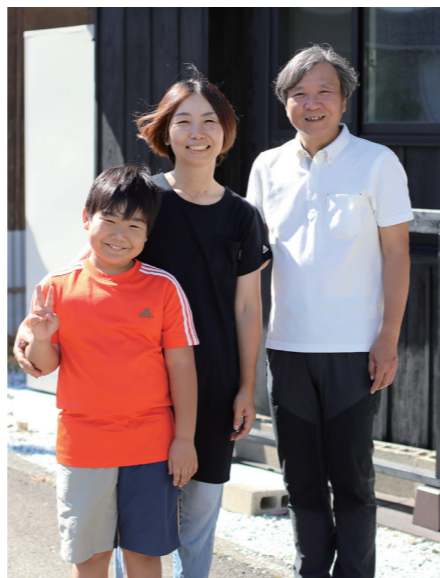
地域おこし協力隊での3年間の活動は終えましたが、任期終了後も溪流の里で働きたいと思い、現在に至っています。自然が相手の仕事なので、大変なことも多いですが、好きなことを仕事にできている今の環境に満足しています。

将来は、魚に関わる仕事がしたいと就職活動をする中で目にとまったのが、美浜町で川の仕事をやる地域おこし協力隊の募集でした。

私が住んでいる雲谷は、夜になるととても静かで、季節によってさまざまな虫や動物の鳴き声を聞くことができそうです。生き物が好きな私にとっては、最高の場所です。

美浜町に来て、初めて食べた溪流の里の魚の美味しさに衝撃を受け、この地の自然の素晴らしさを実感しました。

私に比べて、初めて食べた溪流の里の魚の美味しさに衝撃を受け、この地の自然の素晴らしさを実感しました。



兵庫県から家族7人で移住。現在、康郎さんは単身県外で仕事をしているが、休日は家に帰り、畑仕事にいそしんでいる。

移住なのに『おかえりなさい』と

迎えてくれました

上村 康郎さん(右)、典子さん(中央)、佳和さん(左) 河原市

もともと仕事の関係で、3年ほど美浜町に住んでいました。その間、ドリリンピックやジビエの活動等、自然を生かした体験をさせてもらい、美浜町の魅力を存分に味わいました。

そんな中、子どもたちがボート部に入り、その魅力に引き込まれたことが、移住するきっかけになりました。一度は美浜町を離れ

ましたが、美浜町の空家を購入し、一家で引っ越した時、地域の方に言われた言葉が「おかえりなさい」でした。この地域の人たちは、本当にあたたかい人ばかりだなと思っています。

最近、畑仕事も楽しく、定年後は畑で自分たちが食べたい四季折々の野菜を自分たちで育てる暮らしもしてみたいと思っています。

松本さんのお隣で

お願いします

上村 佐和さん(左)、杏子さん(右)、八重ちゃん(愛犬・中央) 河原市

隣近所を気にすることなく、愛犬と一緒に暮らせるところを探していたところ、先に美浜町に移住した弟(康郎さん)から美浜町がすごくいいところだと教えてもらい移住を決めました。

その際、松本さんには大変お世話になり、その人柄にも惹かれ、松本さんのお宅の隣の物件を購入しました。松本さんは、地域とのつなぎ役にも



東京都から娘さん、愛犬と一緒に移住。佐和さんは、テレワークで東京時代の仕事を続けている。

住んでいるとなかなか気付けない美浜の魅力を発見

当時は区長をしていて、ふるサボさんから空き家マッチングツアーで紹介できる物件を河原市から出してもらえないかと依頼を受け、空家所有者に連絡を取りました。

その結果、数軒の空家をマッチングツアーに出すことができ、そんな中、上村さんたちとのマッチングに成功しました。

更に、最近では康郎さんと佐和さんのように、移住者が移住者を呼んでくれるいい流れができているのではないかと感じています。

移住者と話していると、美浜町の良いところをたくさん言ってくれて、ずっと住んでいると気付けない美浜の魅力を発見しました。



松本 芳幸さん=河原市=



中村 俊彦さん=雲谷=

高齢者が多い地域にとって若者の移住はいい刺激に

雲谷は、高齢者が多い地区なので、若い前田君が移住してくれたことで、いい刺激になっていますし、空家だった物件に住んでくれたので、空家の解消にもつながりました。

前田君は、祭りや草刈り等の奉仕作業にも積極的に参加してくれて、本当に助かっています。

前田君がご近所さんと会話をしているのを見ると、地域に馴染んでいるなと感じます。

若い発想でいいアイデアをたくさん持っていると思うので、それらを積極的に実行してもらい、地域に貢献してくれることを期待しています。

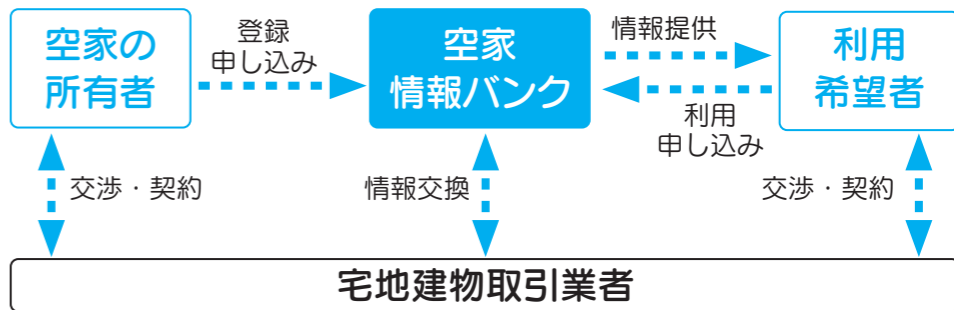
移住者を支える・後押しする制度

移住者 × 住まい

◆空家情報バンク

空家情報バンクは、所有者の方が登録した空家情報を入居希望者へ提供する仕組みです。

登録された空家情報は、町ホームページで公開されており、入居希望者の申し込みを随時受け付けています。



◆空き家マッチングツアー

町では、空家と移住希望者をマッチングするため、空き家マッチングツアーを定期的で開催しています。ツアーでは、空家の内覧にとどまらず、周辺の住環境も確認でき、移住後の生活がイメージできます。



↑ 6月に行われた空き家マッチングツアー（先進地視察として高知県から関係者がツアーに同行）

◆お試し移住体験

山上にある移住居住体験施設「黄舎」は、美浜町に移住を検討している方や就農希望者が美浜町の暮らしを体験できる施設で、1泊2日から利用できます。



↑ 移住居住体験施設「黄舎」

町と空家対策に関する連携協定を締結

移住から定住へ ～空家、移住者そして地域を結ぶ～

NPO法人

ふるさと福井サポートセンター

理事長 北山大志郎

NPO法人ふるさと福井サポートセンター

と移住者をマッチングする団体で、平成24年に設立しました。

活動を始めた当時は、空家と移住者だけをマッチングすれば、空家の解消になると考えていましたが、

それでは、定住につながらず、移住者がすぐに違う地域に移住してしまうことに気が付き、地域の関わり的重要性を認識しました。

空家と移住者をマッチングし、定住してもらうには地域にも関わってもらうことで、移住者と地域の双方が安心できます。

移住後に地域から「いい人に来てもらった」、移住者から「ここに移住してよかった」と双方から言ってもらえる活動を目指してい

ます。

最近では、移住者が移住者と呼び、地域全体が空家をどうにかしないといけないという流れが生まれ、マッチングが成功するケースが増えてきています。

ただ、やみくもにマッチングするのではなく、移住者も、そして移住者を受け入れる地域も、みんなが安心して暮らせるお手伝いをさせていただきます。



↑ 地域に活気を与え魅力を高める活動に取り組み、成果をあげた団体を表彰する「第10回 地域再生大賞」を令和2年に受賞（北山氏は前列中央）

山野正憲さん・佐江子さんご夫婦が移住を決断した最後の決め手は、上野の方に言われた「僕がいる限り大丈夫」という言葉でした。

山野さんご夫婦が最後まで不安だったのは、地域に馴染めるかどうか。そんな不安を投げかけたとき、そう答えてくれたそうです。

この言葉を聞いた山野さんご夫婦は、安心して移住し、美浜の暮らしを満喫しています。

現在は先輩移住者として、美浜町への移住を考えている人の手助けをしています。

移住者だから、地元民だからというわけではなく「美浜で暮らす」すべての人が暮らしやすい町を目指すことが、まちづくりの根幹にあるのではないのでしょうか。



特集 Special Feature

美浜で暮らす 完



第43回 全日本中学選手権 競漕大会

7月22日、23日の2日間、第43回全日本中学選手権競漕大会が県立久々子漕艇場で開催されました。大会には、全国から199クルー約460人の選手が出場しました。大会前日に行われた開会式では、美浜中学校ボート部男子キャプテンの石丸風芽さんと女子キャプテンの森田心々夏さんが選手宣誓を行いました。美浜中学校は、男女合わせて6クルーが出場し、男子舵手付きクオドルプルで15年ぶりの優勝、女子ダブルスカルで3位の好成績を収めました。

レースの結果は次の通りです。

〔関連第25頁〕

◆ 女子 ◆

| レース種別 | 着順 | クルー名 | 1,000mタイム |
|------------|----|--------------------|-----------|
| シングルスカル | 優勝 | 琵琶湖漕艇場 BRC(三村) | 4:03.96 |
| | 2位 | ぎふジュニアボートクラブ A(額織) | 4:16.04 |
| | 3位 | 愛知東郷ボートクラブ A(菊地) | 4:16.89 |
| ダブルスカル | 優勝 | 菊池ローイングクラブ A | 3:56.58 |
| | 2位 | 河口湖北中学校 | 3:56.96 |
| | 3位 | 美浜中学校 | 3:59.93 |
| 舵手付きクオドルプル | 優勝 | 入野中 A | 3:56.09 |
| | 2位 | 瀬田中学校 A | 4:01.52 |
| | 3位 | 丸内中学校 A | 4:01.69 |
| 総合成績 | 優勝 | 琵琶湖漕艇場 BRC | |
| | 2位 | 瀬田中学校 | |
| | 3位 | 菊池ローイングクラブ | |

◆ 男子 ◆

| レース種別 | 着順 | クルー名 | 1,000mタイム |
|------------|----|--------------------|-----------|
| シングルスカル | 優勝 | 琵琶湖漕艇場 BRC A(柴原) | 3:46.36 |
| | 2位 | 岡山ジュニアローイングクラブ(駒田) | 3:48.95 |
| | 3位 | 戸田中学校(川添) | 3:50.27 |
| ダブルスカル | 優勝 | 菊池ローイングクラブ A | 3:31.07 |
| | 2位 | 米子漕艇クラブ | 3:32.07 |
| | 3位 | 大沢野中学校 A | 3:33.73 |
| 舵手付きクオドルプル | 優勝 | 美浜中学校 | 3:26.75 |
| | 2位 | 津幡南中学校 A | 3:30.95 |
| | 3位 | 愛知東郷ボートクラブ | 3:35.31 |
| 総合成績 | 優勝 | 瀬田北中学校 | |
| | 2位 | 大沢野中学校 | |
| | 3位 | 鳥取ジュニア RC | |

写真の説明(C:コックス、S:ストローク、3:3番、2:2番、B:ハウ)

- ①男子舵手付きクオドルプルで優勝した美浜中学校(C:千田瑠斗、S:石丸風芽、3:和多田海吏、2:志賀奎太、B:山口佳大)
- ②女子ダブルスカルで3位に入賞した美浜中学校(S:森田心々夏、B:金森有咲)
- ③女子シングルスカル美浜中学校(森山ひまり)
- ④女子舵手付きクオドルプル美浜中学校(C:山本莉子、S:辻原琉衣、3:大西汐莉、2:今村彩華、B:山本咲那)
- ⑤男子シングルスカル美浜中学校(木谷郁斗)
- ⑥男子ダブルスカル美浜中学校(S:大同章成、B:岡部颯斗)

